

## 市民活動団体に関するアンケート調査結果

○調査目的 長浜市内の市民活動団体の運営や活動において、コロナ禍によって、「どのように影響があったのか」「今後、どのような影響があるのか」「どう対処していくべきなのか」などについて、お互いに情報を共有することで、今後のそれぞれの取り組みに生かしていくことを目的として実施。

○調査期間 令和2年6月24日～7月8日

○調査対象 市民活動団体データベース登録団体：116団体

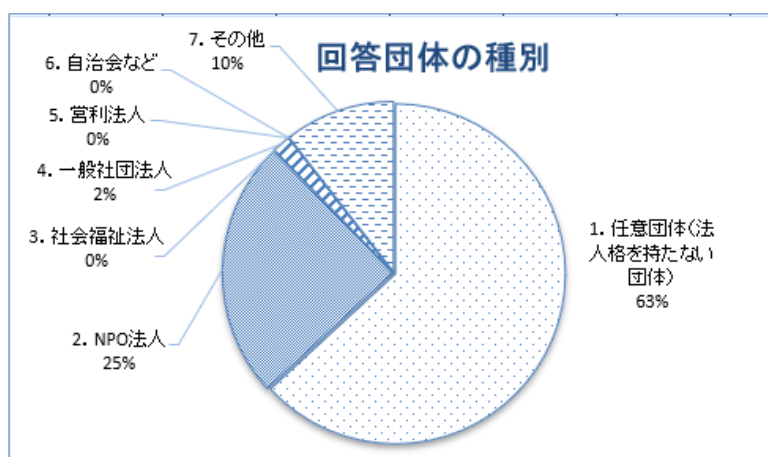
○回収率 50.9%（回答数：59団体）

問1 団体の連絡先などをご記入ください。

【省略】

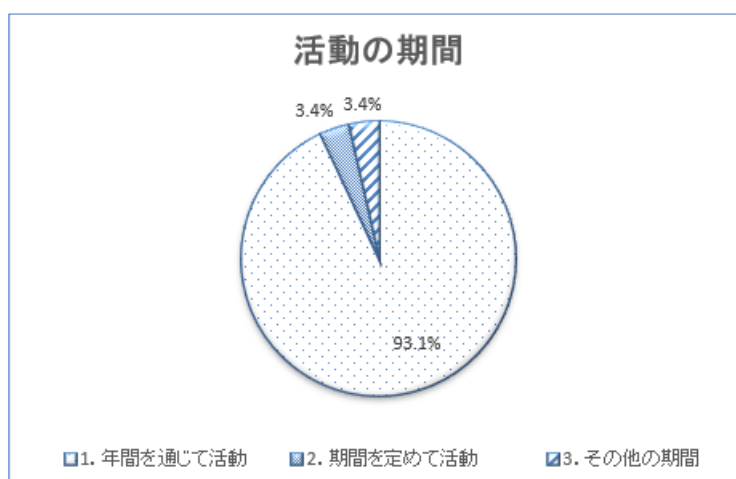
問2 貴団体の種別について

1. 任意団体
2. NPO法人
3. 社会福祉法人
4. 一般社団法人
5. 営利法人
6. 自治会など
7. その他



問3 貴団体の例年の活動期間について。団体が活動をされている時期を教えてください。

1. 年間を通じて活動している
2. 期間を定めて活動
3. その他の期間

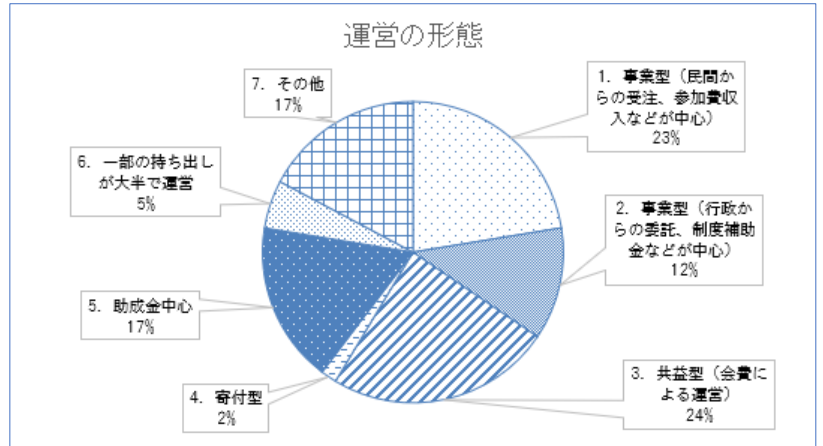


問3-1 具体的な期間

1. 3か月未満 (2団体)
2. 6か月未満 (1団体)
3. 1年未満 (1団体)

問4 貴団体の運営の形態について

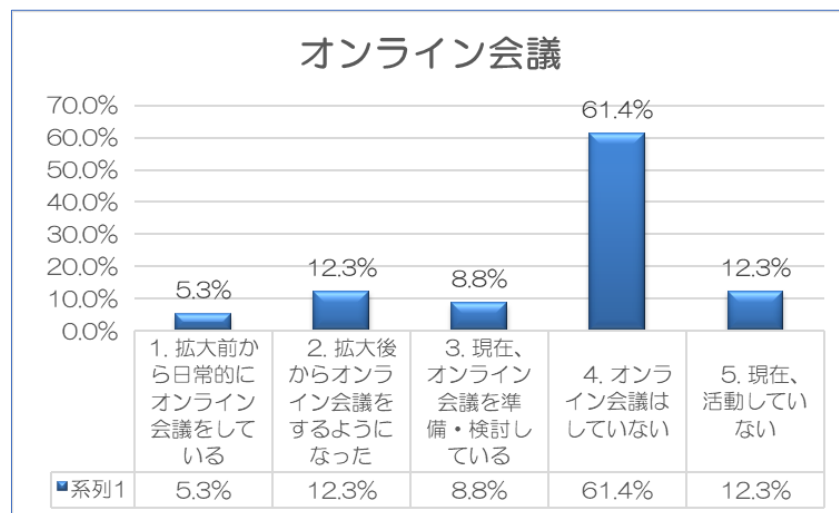
1. 事業型 (民間からの受注、参加費収入など)
2. 事業型 (行政からの委託、制度補助金など)
3. 共益型 (会費による運営)
4. 寄付型
5. 助成金中心
6. 一部の持ち出しが大半で運営
7. その他



■貴団体の運営に関する話し合い

問5 オンラインによる会議について 【必須】

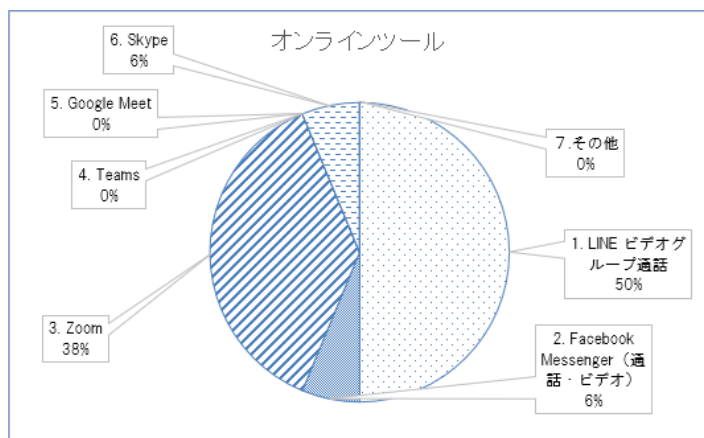
1. 拡大前から日常的にオンライン会議をしている
2. 拡大後からオンライン会議をするようになった
3. 現在、オンライン会議を準備・検討している
4. オンライン会議はしていない
5. 現在、活動していない



問6 貴団体で利用されたことのあるオンライン会議ツールについてお聞きします。

問5で、「1, 2, 3」に回答された方で、使ったことのある、使う予定のツールを教えてください。（複数選択可）

1. LINE ビデオグループ通話
2. Facebook Messenger（通話・ビデオ）
3. Zoom
4. Teams
5. Google Meet
6. Skype
- 7.その他

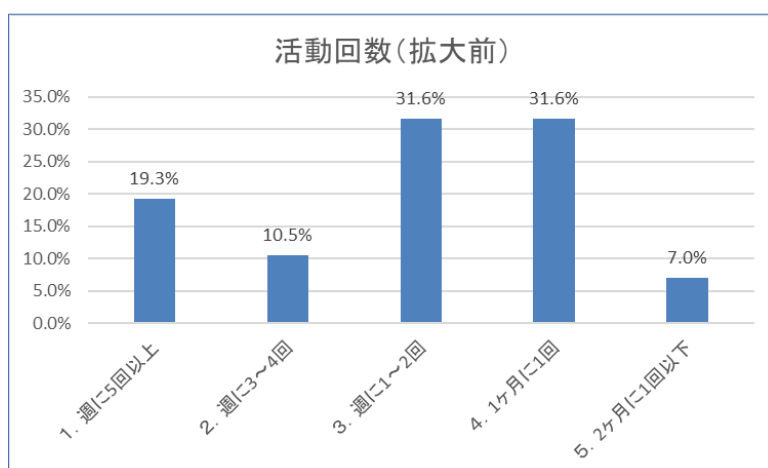


## ■貴団体の活動について

問7 会議などを除く、拡大前と拡大後の平均的な活動の回数（頻度）は

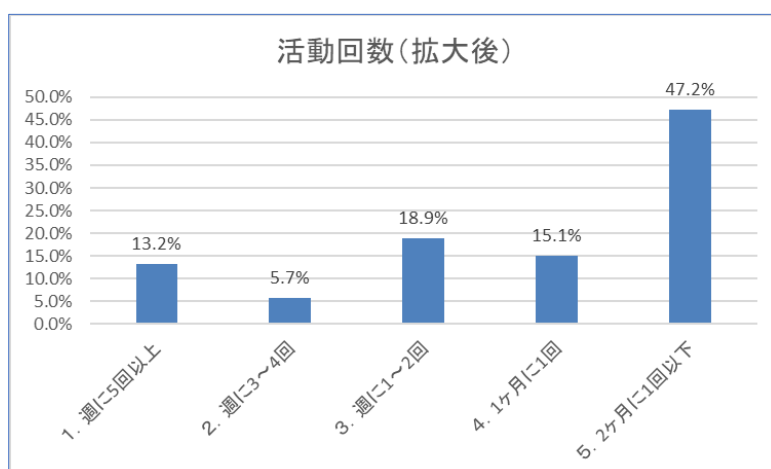
<拡大前>

1. 週に5回以上
2. 週に3~4回
3. 週に1~2回
4. 1ヶ月に1回
5. 2ヶ月に1回以下



<拡大後>

1. 週に5回以上
2. 週に3~4回
3. 週に1~2回
4. 1ヶ月に1回
5. 2ヶ月に1回以下



問8 参加者の人数について

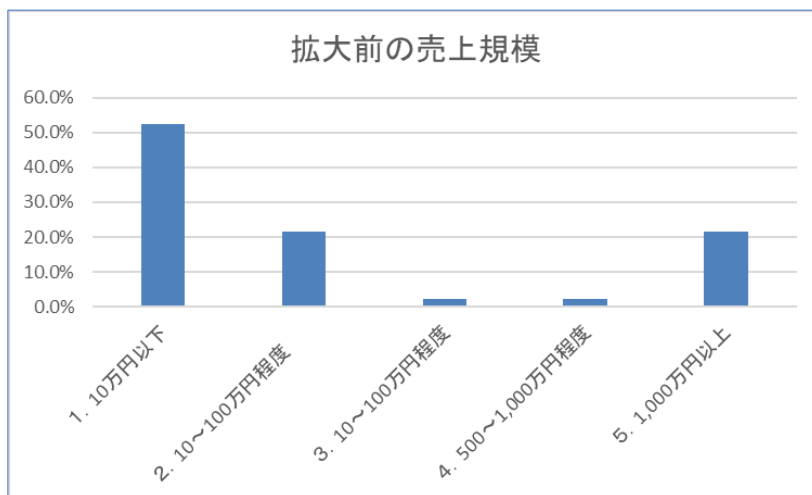
拡大前と拡大後では、1回の活動に平均して何人程度の参加者がおられますか？

- 1. 拡大前      回答数の平均人数      (13.4人)
- 2. 拡大後      回答数の平均人数      (7.6人)

問9 貴団体の収益・売上の規模について

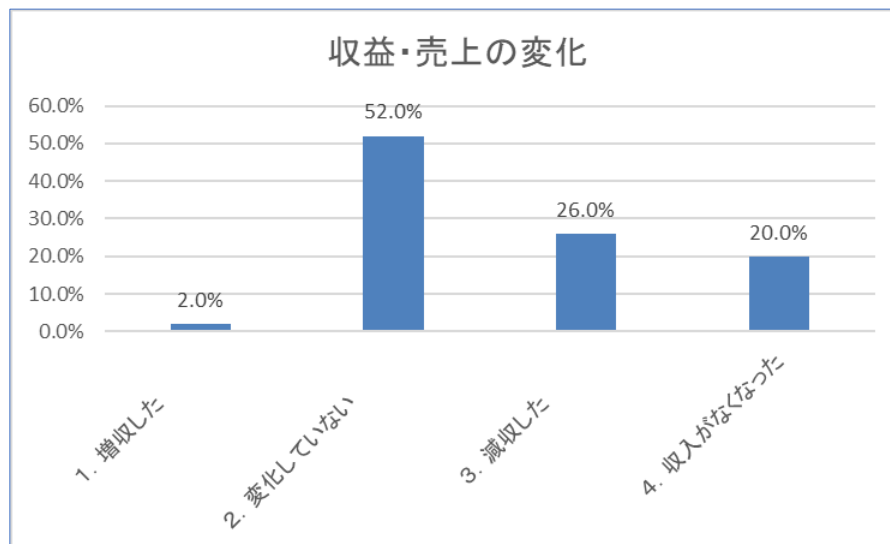
拡大前の直近の1年間の収益(売上や参加費、寄付金の総額など)の規模を教えてください。

- 1. 10万円以下
- 2. 10~100万円程度
- 3. 10~100万円程度
- 4. 500~1,000万円程度
- 5. 1,000万円以上



問10 新型コロナウイルス感染症の拡大による貴団体の収益・売上の変化について

- 1. 増収した
- 2. 変化していない
- 3. 減収した
- 4. 収入がなくなった



■ 「1, 3, 4」を選択した団体にお聞きします。どの程度増加・減少したか教えてください。

- 5月から3~5割ほどの減収が見込まれます。
- 5割の減収です。      ○ 1割の減です。
- 市指定の臨時休館が4/14~5/16まで続き、6割の減収です。

問11 その他、新型コロナウイルスの影響で感じている活動の変化があれば教えてください。

- 講座の受講者数の上限を半分にした4名が上限となります。
- 3密回避が難しく感じています。特に、障がい者の方の理解や支援への対応が難しいです。ソーシャルディスタンスが難しいため、感染予防対策品をできるだけ使用していきたいと考えますが、どこまで予防対策ができるか不安です。このようなことにストレスを感じます。
- コロナウイルス感染症の「クラスター源」にならないために活動を自粛する傾向があります。市のイベントなど、もっと「With Corona」の発想から、みんな元気活発な地域づくりを行った方がよいと思います。
- コロナ対応の活動。
- 冬季の活動なので、実際にその時にならないとわかりませんが、講師がご高齢なので心配しています。
- 生涯学習事業やイベントが実施できなくて、収入もふくめ、利用人数の減となり、当初計画を大きく下回ることが懸念されます。
- マスク着用で、これまで以上に熱中症への対応に気を配らなくてははいけません。手洗いや消毒などの時間が多くなりました。
- 自粛期間中は、取材、会議の回数、人数を減らしました。
- 観光客の減少に伴い、活動機会が減少しました。
- イベントなしで、活動もなし。三密で神経を使います。人とひととの交流なし。紙面で連絡や注文し、配達しています。
- 共用場所不可。3密対策。資金不足。
- 新型コロナウイルスの防止対策を考えた活動を模索しています。
- 活動（練習）場所がなくなりました。練習もできなくなりました。
- 6月から、定例会活動をはじめています。
- 福祉施設や地域のイベント等の依頼もなく、活動は自粛しています。
- 現在も、休止中です。
- 子どもたちの合唱団隊なので、現在、活動を控えています。
- コーラスは飛沫が飛ぶため活動できません。市の方から、対策のアドバイスや対策グッズの提供があると助かります。
- 4, 5, 6月と中止しています。
- コロナ対策のため、現在、訪問での活動は休止となっています。
- 7月現在活動休止中、9月再開を検討中です。
- 三密になってしまうので、朝の読み聞かせができない。メンバーに会えていない。
- 慰問活動、発表会、夏祭り：中止
- 高齢者グループのため、すべてのボランティア活動は中止しています。また、学校、保育園等からの受け入れ要請がありません。

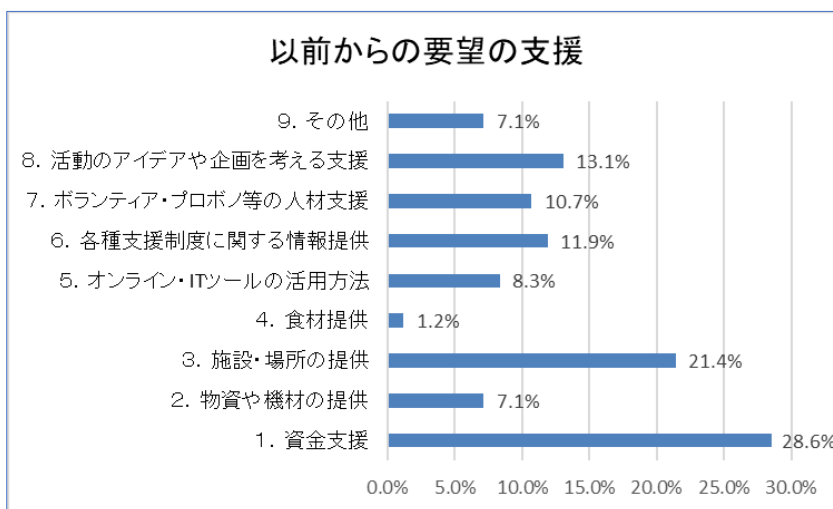
- 活動拠点である児童館の利用を控えたことで、まったく活動できなかったと同時に、イベントも中止になり、活動、政策、練習をしていません。
- 会員全員 60 歳以上。80 歳以上も 2 人いますので、活動していません。集まりだと思いつつ、皆の不安も大きく、定例会を開くかどうか思案中です。
- 講演会や現地研修などの開催が難しくなっています。
- 活動する訪問先に行けなくなり、活動休止状態。スタッフ間での話し合い、研修、手づくりお話、小道具づくりなど、集まる活動は、まったくしていません。
- 私たちは、食を扱う活動が多かったので、感染拡大後は、広く参加者を募って、広場を開催することを控えるようにしています。畑など屋外で活動を行う場合は、参加者も募れるかと検討しています。
- 施設研修など、バスを利用していた活動がまったくなくなりました。
- 障がい児・者の方への支援をしています。支援方法そのものの考えを見直す必要を感じています。身体への介助も含まれますので、マスクなど防疫面と、実際の支援の仕方について再考する必要があり、情報を求めつつ、模索する感じです。
- 活動場所が小学校内なので、コロナ禍で学校が休校になると同時に、活動を中止しました。学校は再開しましても、学校は遅れた授業を取り戻すことで精一杯です。そこで、ボランティア活動もまだ再開はしていません。2 学期以降と考えています。
- 活動は行っていますが、気持ちが疲れます。
- 小・中・高の夏休みが短いので、休業中の課題として学校にはお願いしました。
- 器楽の練習ができなくなりました。
- 活動再開は難しいと思います。やはり、密になるので、特に人数が複数になると出来かねます。
- 来所での開催は難しい。オンラインでのサロン・イベントを開催しています。
- 対象が中途失聴者なので、特別な変化はない。しかし、要約筆記行為そのものがソーシャルディスタンスを取りにくい。互いに話すわけではないので、マスクなどで十分な対応はできると思います。
- ソーシャルディスタンス確保のため、練習場所を以前の 2 倍の広さの部屋、もしくは複数の部屋を使用しなければならない。また、除菌のための時間が必要で、活動予定時間にこの時間をプラスして借りなければならない。従って、使用料は 2 倍以上の増加となるので、会計的に厳しくなると考えられます。
- コロナ感染症対策と、3 ヶ月の活動休止によりオーケストラ育成の予定が大幅に狂ったことで、9/27 の第 3 回定期演奏会を延期しました。この事での団員のモチベーション低下が危惧されました。しかしながら、休止期間に各自が個人練習を焦らずマイペースでできたことや、自分と音楽・楽器演奏について見つめ直し時間があり、本当にやりたいんだと、改めて感じる事ができたのではないかと思います。このリセット効果が合奏再開してみてもよい方向を生み出しています。指導していただいているプロの指揮者の方からも、みんなテンション下から「演奏がしたい！」と言う雰囲気になっており今後にご期待できると、仰っていただいています。

## ■貴団体が必要としている支援や団体の考え方について

問12 新型コロナウイルス感染症の拡大前後を比較して、拡大以前からあった貴団体の必要とする支援と、拡大以降から発生・必要性が高まった支援を最大で3つまで教えて下さい。【必須】

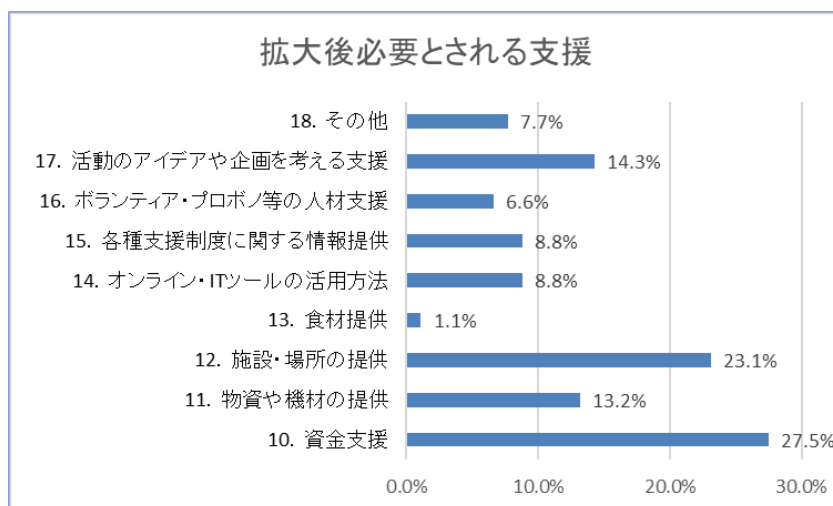
<拡大前>

1. 資金支援
2. 物資や機材の提供
3. 施設・場所の提供
4. 食材提供
5. オンライン・IT ツールの活用方法
6. 各種支援制度に関する情報提供
7. ボランティア・プロボノ等の人材支援
8. 活動のアイデアや企画を考える支援
9. その他・・・・・・・・



<拡大後>

10. 資金支援
11. 物資や機材の提供
12. 施設・場所の提供
13. 食材提供
14. オンライン・IT ツールの活用方法
15. 各種支援制度に関する情報提供
16. ボランティア・プロボノ等の人材支援
17. 活動のアイデアや企画を考える支援
18. その他・・・・・・・・



問13 拡大後に発生した必要とする支援について、具体的にどんな支援が必要か教えて下さい。

- 必要ありません (18)
- ソーシャルディスタンスの確保のための施設・場所。感染予防のための衛生用品 (アルコール、マスク、フェイスシールド、マウスシールドなど)
- 生産活動の減収による障がい者の工賃保証
- とにかく、資金不足
- マスクなど

- ディスタンスを確保して、会議を開くにはキャパがなく、会場の物質的な支援が必要
- 減収に対する補填措置
- コロナ対策に要した費用への助成金
- 給付金、補助金、助成金
- 講師が高齢化のため、リモート？よりも、動画として記録を残せるといいと思います。そのあたりの編集や保存への支援が欲しい。
- 収入減に対する事業運営資金
- これまで以上に、ITを活用することが増えてきていますが、自分たちの知識では追い付かないところがあります。
- 支援は必要ですが、コロナ拡大と深くかかわっていません。
- ガイド活動（話す）と3密を避けるについての効果的対策
- 消毒液が購入できず困ったので、介護現場でもあり、必要な物品が供えられるよう、支援して欲しい。
- みんな小売り者であり、ITや機材等が使用できず、勉強なくしてはと思っています。是非、支援をお願いします。
- 持ち出しが多く資金不足。継続を断念しようかとも。
- 正しい感染症対策の仕方や、活動するにあたっての注意点を伝授いただきたい。
- 楽器が足りないため資金支援が必要です。
- 活動がないが、補助金を出してもらえるのか？来期のためにも、継続して欲しい。まちづくりセンターなど、使用料の免除申請ができないか心配です。
- 拡大後においても、練習再開時には、拡大前と同じ支援が必要です。再開できなくても、連盟への加盟費やホームページ管理費等は必要です。
- 活動ができない。安全に活動できる場所、ピアノの支援や借りる資金の援助、コロナ対策の仕方を教えてください。
- 3密を避けた施設・場所の提供。
- 拡大前、拡大後とも活動には変わりはない。いつものとおり、活動すればよい。  
どんな支援が得られるかわからない。活動していないので、今、必要なことがわからない。  
できることをできる範囲でやろうと話しているため、拡大前と拡大後で必要性が高まった支援は特にありません。必要性がないということではありません。
- 毎年刑務所や更生保護施設、地域の学校園などでの活動が中心ですが、受け入れが中止となっているので、研修場所を工夫したいと考えています。三密を避ける手立てを支援してください。
- コロナ拡大当初、マスク、消毒液など本当になく困りました。社会的にすべての人の困りごとが当事業所にも同様にあり、それがなくては支援できない状況にありました。その後落ち着いて物資が供給され今に至っています。今後は、ある程度の物資の備蓄をすべきと思います。事業主であるからということではな



く、社会一般的な事態としてです。

○活動資金の確保が困難。市民活動ベースでの支援策があれば知りたいです。

○練習場所の確保

○コロナに関係なく収入を得る仕組みづくり

○オンライン通信費の補助、センター内にオンラインできる個室を

○活動再開のため医学的な知識を知りたい。ウィズコロナ：共存できる環境は必要です。

○音による情報不足なので、文字伝達が必要です。それにはマンパワーを要します。

○除菌や密を避けた練習などを考えた場合、一定の練習場で毎回できるのと、予約状況で移動をせざるを得ない場合とでは、物理的・精神的負担は全く違うと思います。大型楽器の収納できる倉庫が付属した練習場の必要性をより強く感じております。

○活動場所の提案

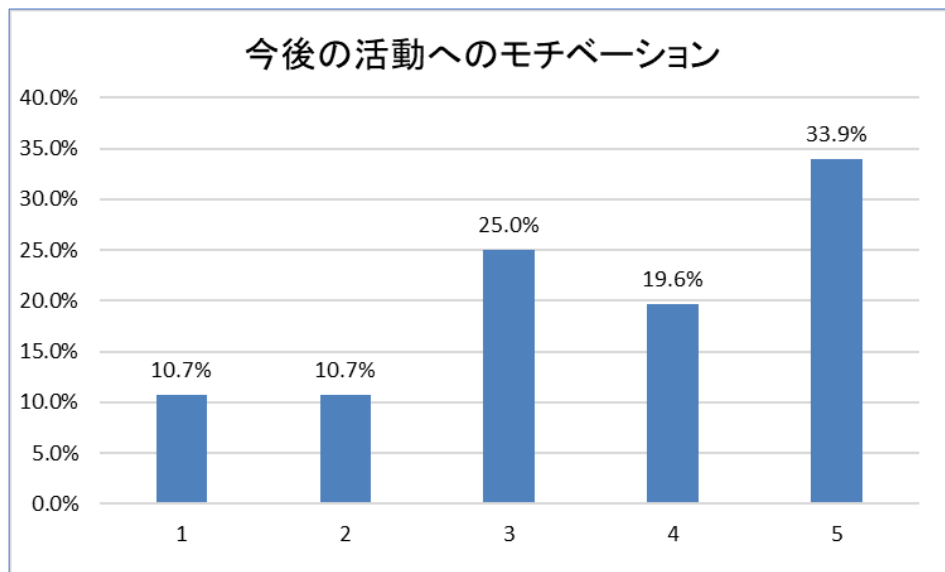
○安心して集約できる場所の提供。マスクなしで発表できるために、パーテーションやアクリル板など

問14 今後の団体の活動へのモチベーション（目標に向かって行動を起こし、それを続けようとするチカラ）を教えてください。ゼロから5までの、該当する点数の口にチェックをしてください。

←停止・自粛したい

積極的に活動したい→

0———1———2———3———4———5



■なぜ、この点数となったのか、その理由を教えてください。【必須】

【5】

- 積極的に活動したいが、実質資金面で存続自体が危うい。
- 地域課題を解決し、魅力ある地域とすることがミッションであるため。
- 事業を継続させなければならないので。
- 公共施設の管理運営が主体のため、利用促進を図る。
- こんな時だから、もっと充実した活動をしていきたいと思ったから。
- 観光客にはおもてなし、地域には観光振興として、貢献。
- 10年以上になり、活動しているものも高齢になってきました。私たちの活動の目標、人生100歳まで元気で。みんな力を出し合って、感謝して、地域に返していきたい。
- 実現したい目標や目標があります。
- 今後感染症対策をしながらできる限りのことをしたい。
- 部員が少ないため、積極的に活動し、楽団のPRをしたいから。
- 新型コロナウイルスで団員がそろって歌うことができなくなりストレスが溜まっています。
- みんなと一緒に歌える日常生活の楽しさを痛感したので、前向きに取り組めると考えています。
- お話会が実施できない現状を踏まえ、今年は、会員全員の技量を高めていく一年とし、講師からのご指導を次年度に向けての力としたい。
- 子どもたちに、お話を届けたい思いがあります。
- 個別相談や支援の要請が増えています。
- いずれ終息するコロナ。その時に向けて、取り組むだけです。
- 絵本の読み聞かせは、子どもたちにとって必要です。メンバーの健康維持・認知症予防にも、大切な活動だと思っています。
- ウイルスに負けずに頑張りたい。
- 津軽三味線が大好きな仲間たちです。レベルアップをめざし、皆さんに楽しんでもらう目標があるから。
- 湖北オーケストラは、人数的、音楽的にも、これからです。早く一人前のアマチュアオーケストラに育てたいです。やることはいくらでもありますので、積極的にみんなやる気でいっぱいです。

【4】

- 活動中だが、継続となると、資金、人材、メディアなど必要で、モチベーションマックスでないため。
- 自粛解除後、全員で話し合い、みんな歌いたくてうずうずしている気持ちを知りました。また、コーラスは、不要不急であるかもしれないけれど、生きる力をもらえる、とても大切な場所であったことを改めて知りました。感染は防がなければならないけれど、何とか活動を再開したい。
- 市のシンボルである長浜城歴史博物館を拠点とする友の会の活動は大切だと考えているため。

○最初は厳しいとの認識でしたが、関係者が「できることからやろうと」前向きになり、模索するようになっていきます。

○「Sdgs の達成、10 年」「コロナ禍で疎の魅力」「対話が少なくなったこと」

○生活の一部として、器楽演奏を楽しみたい。

○多様な視点からの情報発信をしていきたい。資金面の不安で、「4」としました。

○中途失聴者は、手話でのコミュニケーションができません。必要情報を周りの文字だけでは得られません。

○自分が動ける間は頑張りたい。

○毎月活動していましたが、コロナの影響で、活動できません。休んでいた分も活動したい。

### 【3】

○現在の活動を維持します。

○100 年に一度といえる国難に対して、今後の対応に戸惑いがあり、積極的にはなれない。現状維持をしながら、状況を見極めつつ、今後を考えたい。

○参加者からの要望が、毎年あるため。

○技術の習得時間を要するため、後継者の育成を手助けしていくこと。

○資金不足。市や県などの他団体等でも取組が増えており、当団体が必要なのかも感じています。

○今は、会員の思いは、活動したいと思いと、不安の思いの間でゆれています。OK になったら、すぐに動けると思っています。

○コロナ対策をしながら、参加者も来られるはずなので。

○楽しみながらやっているため、7 月から再開します。

○今まで通りの活動を続けていくつもりです。

○現状では活動ができませんので、いつでも、対応できる体制を取りたい。

○やめてしまうと再開が難しく、次から、助成金がもらえなくなるのではないかと不安です。

○退職者の集まりで、ゆるやかに活動しています。年間 2 件ほど依頼がありますが、今年度はありません。

○乳児の安全・安心を優先するとき、居場所として、どう展開していくのか模索しています。

○できるだけ活動したいが、今後のコロナの感染拡大を見極めたい。

### 【2】

○組織・目的の見直しのため。

○するかしないかの上での判断が必要。マスクの毎日では、つらいだけです。

○どう 3 密を避けるか検討することが多いです。

○早く活動したい気持ちはあるが、ボランティア同士が顔をあわせて、話し合いしていないから、モチベー

ションが低くなりつつある。ラインで、話し合っているが、必要事項の連絡や確認になりがちで、盛り上がり欠け。

○個人の考え方ですが、ボランティア活動の継続がモチベーションになっていました。コロナでいったん自粛してしまうと、積極的に活動できると思う反面、正直、億劫でもあります。

○以前のように集客してのイベント開催ができません。1○ボランティアメンバーが高齢化で、相手の方も高齢者。話しを聞く姿勢でマスクをしてはどうだろう。離れて聞く姿勢もどうだろう。メンバーの中には、活動をしたくないと言ってくる人が多い。でも、施設側から断りはなく、不安。毎月、伺いをたてて、活動する精神的不安あり。

#### 【1】

○われわれの活動によって感染者がでた場合を考えると自粛しかありません。

○気持ち的には「5」、コロナ禍では「1」。40年以上の活動実績。コロナで休止していますが、9月からは再開したい。定期演奏会の活動資金が捻出困難で、できたとしても、感染予防を図りながら実施です。

○会員の高齢化が進む中、どこで区切るかを考えています。

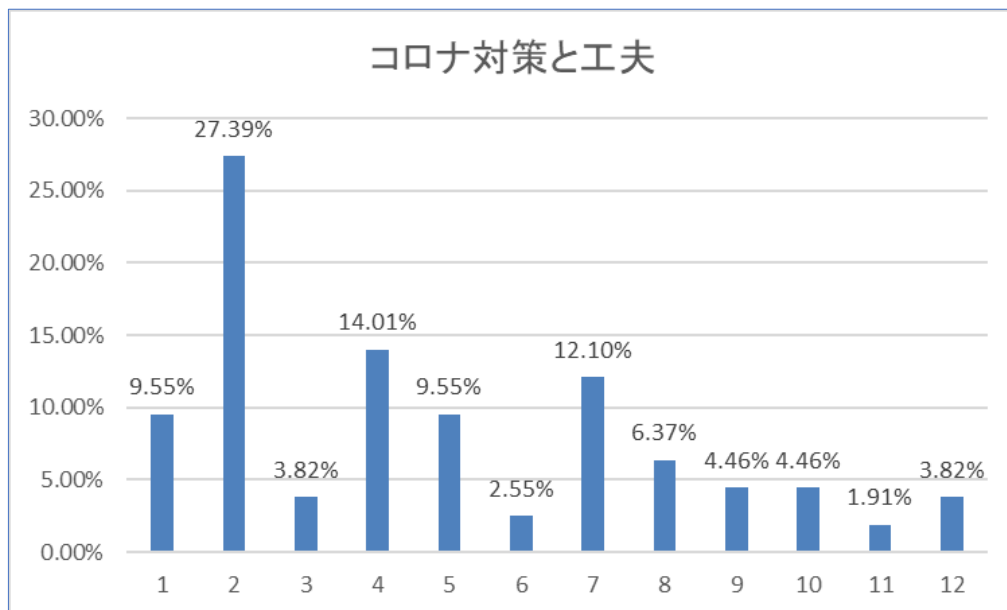
○コロナ後ということではありません。5年前より予定してきた事業の縮小です。職員の高齢化と、それによる支援の限界を見越しての準備です。活動は停止、自粛という方向ではありますが、丁寧な支援をしていくモチベーションを継続しております。

#### 【0】

○活動依頼をしてくださる「こども園」「子育て支援センター」がイベント自粛しているため。

問15 新型コロナウイルス対策で、貴団体が行われている工夫や対策について、教えてください。

- 1 組織の方針やルールを策定し運用している。
- 2 マスク着用やアルコール消毒、注意喚起等、感染予防を講じている。
- 3 オンラインツールを活用して、会議やイベント等を実施している。
- 4 会議やイベント等の開催を自粛・延期することや代替案を検討している
- 5 活動・事業自体を休止している。
- 6 一部または全員が在宅ワークに切り替えしている。
- 7 スタッフや事業関係者等と、コミュニケーションや情報交流を図っている。
- 8 団体同士やネットワーク、地域内で連携して対策を推進している。
- 9 自治体と連携して対策を推進している。
- 10 感染症対策に関する支援制度や助成金等の情報を収集している。
- 11 感染症対策に関する支援制度や助成金等を活用している。
- 12 特に何もしていない



問 16 新型コロナウイルスという未曾有の国難のなか、貴団体の利用者（対象者）に対して、必要とっておられる（実施されている）取り組みやアイデア、地域にとって必要なこと、お知りになっておられる新しい取組について、教えてください。

オンライン講習を広めたい。

障がい者の方には、現状を何度も説明して対策についても、受け入れてもらえるようにしています。また、外出等の考え方も、感染者が発生している地域への自粛をお願いしています。

リモート会議やWeb上での語学学習の開催を予定しています。

子どもを集めての活動なので自粛せざるを得ないし、人とひとのふれあい活動も重要な要素のため内容を変えることは、現在は考えていません。

講師の方には、小原かごを復活させる会以外にも、要望があれば、だれでも教えてあげて欲しいです。

3密を避け、安心、安全に過ごしてもらう。

お客さんへの協力依頼事項 ・発熱、風邪の症状、倦怠感などの異常がないことの確認 ・マスクの着用  
・連絡先の提出 ・1～2m以上の間隔を取ること。

活動が必要と思っていますが、資金不足のため、継続困難な可能性があります。今後の取り組みについて、情報を収集するか断念の決意を考えています。

考え中です

何ものなし

何ら新しい取組はしていません。マスクや消毒はしています。手洗いも。

練習曲のパート譜のCD録音に取り組みたい。

情報を収集しているだけ。

- 行政の指針が理解できない。独自に理念を有することで乗り切ります。
- マスクを作って社協に寄付しています。
- いつも出勤できる体制を取りたい。一日一日の時間内で勉強していきたい。
- 人とひととのつながりが以前とはなっていくかもしれませんが、暖かなつながりが提供できるよう、無理のない範囲で活動を続けていきたい。
- コロナで、世の中、社会、学校すべてが不安でどんよりしています。そのなかで、少しでも、不安を取り除いては、学校へ元気を与えたいという気持ちは確かにありますが、具体的に何か取り組みをしようとなると、役員に負担がかかることも気になります。
- アンケートは紙ベース。オンライン化が進展していないと感じますが、もっと使えるよう、普及啓発して欲しい。
- 講座受講者、指導者の感染症予防対策
- ZOOM を使ったの新しい子育て支援に取り組んでいます。
- ただでさえ外出が億劫になっている対象者が、輪をかけて出にくくなっています。ようやく筆記者に迷惑をかけるからと筆記の要請もなくなりました。マスク、フェイスシールドでしっかり対策は取れると思う。ライン動画やチャットの方法を伝えたい。聴こえないことで、引き籠り、命を守る情報も得にくい。身の回りに気軽に要約筆記をしてもらえる人たちを増やしたい。小中高校等への福祉授業を続けたい。
- オーケストラの合奏におけるソーシャルディスタンスは、弦楽器は 1.5m、管楽器は 2m と一般的に言われています。この間隔での配置を可視化することで効率よく行えると考え、湖北オーケストラでは直径 1.5m の円形ビニールシートを全員に配布し使用しています。弦は円が接して 1.5m で、管は通路分として 50cm 離せば 2m となります。また、管楽器においては、唾や飛沫の処理にも効果があり、個人の所有物はこのシート内に置くことで、他との接触機会も減らすことができると思う。
- 湖北では以前のままで問題ないと思う。
- ソーシャルディスタンス、マスク着用、アルコール消毒、手洗い。政府や市町村ごとの対策に従うこと。

問17 今後の活動について、不安に思うことや懸念されていることがあれば教えて下さい。

- 会場が閉鎖になると活動が難しい。
- 第2波、第3波等の不安と秋から冬にかけてインフル等の対応がでるなかで、コロナ対応ができるか不安。また、夏の熱中症とコロナ対応の不安、マスクの熱中症リスク。
- 人とひととのつながりが薄くなり、コミュニティが崩壊すると、これまで積み上げてきた事業がすべて崩壊します。スティホームは、個の強さは成長しますが、集団力は弱くなっていくのではないのでしょうか。
- 塾長が亡くなりましたが、講師の高齢化も進んでいますので、こうした活動に興味のある方をどのように取り込んでいくのか考えないといけないと思います。
- 2010年ころは登山需要もありましたが、それも減少し、個人登山となり、参加者が減少しています。現

在は、観光的な活動よりも環境整備の色合いを濃くして、活動の継続を考えています。高齢化で、メンバーの交代も考えています。

○後継者の問題

○職員や利用者にコロナ感染者がでたらどうしようかと常に不安に思います。

○活動により、感染リスクが高まるのが不安です。会員の募集。

○介護現場は、基準通りに実行できず、また、必要な物資も確保できません。できれば、自宅待機の対応が取りたい。

○食に関する取り組みが難しい。調理実習やイベントでのPR、実物を展開しながら説明しながら人の表情を見ることもできず、オンラインやテレワークもなかなか。

○ネット環境が悪いのも一つです。

○感染防止の観点から、どのように活動すべきか懸念しています。今後の活動や方針。

○社会情勢を考慮に入れながら、感染症ケア策をしながらの活動がどのようになるのか全く分からない状況です。

○活動減少により、補助金や使用会館免除などがどうなるか。

○少しでも拡大前に戻ることを願い、各人が練習に励んでいると思うが、社会全般の自粛が解除されるのを待つしかありません。

○お話に行つてうつすこともことも、うつされることも不安なので、出かけることもできない状況です。

○現在では、練習再開の時期の見込みが立っていません。

○活動再開後に、メンバーに感染者が出ないか、不安です。

○施設から要請があるならば。

○三密等感染予防をしながら、学習会や練習を開催しておりますが、会員の中から感染者が出ないよう願っています。

○高齢者が多いので活動再開には慎重にならざるを得ません。

○屋外の作業が多いので、活動への影響がないように思います。密にならないように行っていきます。

○会員同士のコミュニケーションが取りにくくなり、疎遠になっています。

○未就園児の親子を対象に活動。しかし、子ども自身が三密のルールを守るかどうか。こうしたなか、屋外での若干名での活動を行う中で、その状況をSNSにアップし、ほかの方の一助になればと思い取り組んでいます。

○コロナに関係なく、会員が減ってきています。どうすれば、歯止めがかかるのか？類似の活動グループで成功しているグループがあれば、意見交換してみたいです。

○志はあるが、資金の問題もあり、どうするべきかと揺れ動いているところです。

○新行動様式下で、人が集まるか、活動制限が長期化するか？

○高齢者が多いため、安全を第一にし、ワクチンができるのを待っています。

- 活動と対応が相反しており、難しいです。
- 施設内で新型コロナウイルスの感染が見受けられた場合の対応について、考えています。
- 今後の活動における人員確保が。
- 演奏会を開く場合、観客の密を避けた入場や手消毒、体温測定など感染症対策をどこまですればよいのか。そのための案内スタッフなどは開催者がすべて行うのか、施設側の協力はいただけるのか。客席は半分以下であろうし、それによる減収は、演奏会開催自体の破綻リスクがあります。舞台や楽屋での出演者の密対策はできるだろうか。演奏会は本当に開催できるのだろうか。
- 別になし
- 配り物を配れる範囲（案内地図を配ってもいいのか？風船はいいのか？など）。県外者が多いので、感染を広めてしまう、または、知らぬ間に感染してしまうなどといったこと。誰が保菌しているのかわからないので、長浜や地元で・・・となると怖いです。いつまで、この状況が続くのか？
- 朗読、読み聞かせの活動をしています。マスク着用が必須であるため、演者がマスクをつけているのは、表現活動が難しいため、集客する発表会、読み聞かせ会、朗読会ができません。

#### 問18 ヒアリングについて 省略

問19 ながはま市民協働センターから、さまざまな情報を定期的に発信していきたいと考えています。

(1) どのような情報を必要とされますか。

- 助成金情報（11）
- イベント情報（5）
- セミナー・講習会情報（3）
- 演奏依頼の情報
- ボランティア人材の情報
- 市内で同様の活動をされている団体活動情報
- 団体紹介：プラットホームの役割、見える化をした情報の提供
- 情報へのアクセス手法・ポイント
- 広報への掲載方法
- 新型コロナウイルスに関連するすべての情報や対策。今後の社会をどう考えるかについて。今できることは何かなど。
- 外国籍市民に向けた情報
- 国際交流の情報
- 行政の意思決定プロセスの情報



○教育制度の情報

○予算・条例等のくみたての公開情報

○概要を把握する程度で詳細な情報はあまり必要としない。

(2) 今後、センターが発信する情報を必要とされますか。

1. 必要である 84.6% (回答 44)

2. 必要ではない 15.4% (回答 8)